

# 大腿骨頸部・転子部骨折で手術をされる患者様・ご家族へ

当院では**地域連携クリティカルパス**を導入しています！

**クリティカルパス**をご存知ですか？

「クリティカルパス」とは、患者さんの入院から退院までの間の治療計画の内容を記したのもです。必要な手術・検査や看護などをタテ軸に、日にちをヨコ軸にした、診療スケジュールを表にまとめたものです。これにより、患者様・ご家族が治療の経過を知り、安心して医療を受けられるように取り組んでいます。

では、**地域連携クリティカルパス**って何？

「地域連携クリティカルパス」とは、病院内で活用していたクリティカルパスの範囲を地域の病院等に拡大させたのもです。

当院での治療だけでは在宅生活を送るには不十分な場合、リハビリなどのために専門病院等に転院が必要になります。そこで、地域連携クリティカルパスを活用することによって、転院先でも継続して計画的な治療を続けることができます。

患者様・ご家族が安心して転院し、より早く受傷前の生活へ戻れるように、転院先病院と医療連携が図れるように、連携病院と定期会合を開催しています。

大腿骨頸部・転子部骨折患者対象の**連携病院**は？

現在、**18の病院**と地域連携クリティカルパスにより医療連携を図っています。  
いそだ病院、井原市民病院、大石病院、笠岡市立市民病院、笠岡中央病院、亀川病院、神原病院、楠本病院、さくらの丘クリニック、山陽病院、セントラル病院、沼隈病院、福山記念病院、福山第一病院、福山リハビリテーション病院、藤井病院、府中市民病院、水永リハビリテーション病院、

上記以外の病院への転院は？

上記の18の病院以外への転院希望があれば医師・看護師にお申し出下さい。地域医療連携室担当者が調整役となり希望病院への転院を進めさせていただきます。希望病院がない場合や転院先を決めかねる場合などもご相談下さい。

